

お知らせ

記者発表資料 配布日	平成31年2月15日
---------------	------------

同時発表先： 鳥取県政記者クラブ
米子市政記者クラブ

学識者と共に日野川における効果的な土砂供給の在り方を考えます

～「日野川流砂系総合土砂管理技術検討委員会」を開催～

日野川河川事務所では、平成31年2月20日（水）に「日野川流砂系の総合土砂管理計画」（平成27年策定）に基づき実施している海岸領域への土砂供給対策について、学識者を中心として技術的、学術的な内容の検討・検証を実施する事で今後の総合土砂管理の取り組みをより具体的に進めていくために『日野川流砂系総合土砂管理技術検討委員会』を開催します。

日野川流砂系では、皆生海岸の海岸浸食、日野川の河口閉塞、河道内の砂州の樹林化や局所洗掘、大山等の土砂災害の発生、ダム堆砂の進行等の多くの課題があります。

さまざまな土砂管理の課題を山地域～海岸域までの流砂系全体でとらえ、総合的に土砂の流れの改善にむけた対策を実施し、可能な限り海岸領域への土砂供給を行うことを目指すべき姿とした「日野川流砂系の総合土砂管理計画」を平成27年に策定しています。

「日野川流砂系の総合土砂管理計画」を策定後、各対策のフォローアップについては、日野川流域の流砂系に関係する管理者や自治体などで構成する「日野川水系及び皆生海岸総合土砂管理連絡協議会」で実施しているところですが、土砂移動現象の把握など技術的課題が多いため、学識者等から幅広く意見を頂き検討・検証していく必要があることから、『日野川流砂系総合土砂管理技術検討委員会』を開催するものです。

※総合土砂管理：山地から流出した土砂が河川を流下し、海岸に到達するまでの全体の過程を視野に入れ、土砂移動の実態を捉えた上で、土砂に起因する災害、治水・利水への影響、環境への影響等の課題について、総合的な対策・管理を実施していくことです。

【委員会概要】

日時：平成31年2月20日（水）午後14時00分～16時00分

場所：鳥取県庁 議会棟3階 「特別会議室」（鳥取県鳥取市東町1丁目220）

内容：別紙1のとおり

出席者：別紙2のとおり

○お問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 日野川河川事務所

（技）副所長 岩田^{いわた}学^{まなぶ}（内線204）

調査設計課長 武内^{たけうち}慎太郎^{しんたろう}（内線351）

TEL（0859）27-5484 / FAX（0859）27-2431

ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/hinogawa/>

日野川流砂系総合土砂管理技術検討委員会（第1回）

開催日時：平成31年2月20日（水）

14時00分～16時00分

開催場所：鳥取県庁 議会棟3階

「特別会議室」

議 事 次 第（案）

1. 開会
2. 開会挨拶（日野川河川事務所長）
3. 委員紹介
4. 設立趣旨・規約
5. 委員長の選出、挨拶
6. 議事
 - （1）日野川流砂系の現状と課題
 - （2）総合土砂管理計画の概要
 - （3）土砂管理対策実施状況
 - （4）土砂管理対策モニタリング実施状況
 - （5）平面二次元河床変動解析による土砂動態の検証
 - （6）土砂移動予測モデルの検証
 - （7）今後の課題
 - （8）次回委員会検討項目(案)について
7. 閉会

日野川流砂系総合土砂管理技術検討委員会 委員名簿

委員	氏名	専門分野	所属
学識者	くろいわ まさみつ 黒岩 正光	海岸工学	鳥取大学大学院工学研究科教授
	す み ひろゆき 鷺見 寛幸	環境（植物）	大山町教育委員会教育長
	み わ ひろし 三輪 浩	河川工学	鳥取大学大学院工学研究科教授
	わ だ なかし 和田 孝志	砂防工学	鳥取大学大学院工学研究科助教
行政	たむら みつお 田村 満男	—	鳥取県県土整備部河川課長
	にし ひろゆき 西 博之	—	国土交通省中国地方整備局 日野川河川事務所長
	ま と ば よしひろ 的場 善博	—	鳥取県県土整備部治山砂防課長

五十音順 敬称略

■開催場所

鳥取県庁 議会棟3階「特別会議室」
 (鳥取県鳥取市東町1丁目220)



議会棟各階の課・室等

3階	(病院局)	<ul style="list-style-type: none"> 第12会議室 第13会議室 第14会議室 第15会議室 特別会議室
	<ul style="list-style-type: none"> 病院事業管理者 総務課 	
2階	(県議会)	
	<ul style="list-style-type: none"> 傍聴席 議会史編纂室 	
1階	<ul style="list-style-type: none"> 議場 議長室 副議長室 議長応接室 	<ul style="list-style-type: none"> 執行部控室 第1議員応接室 第2議員応接室 県政記者室 図書室
	<ul style="list-style-type: none"> 議会事務局局長室 議会事務局 	<ul style="list-style-type: none"> (総務部) 行政監察・法人指導課 (会計管理局) 工事検査課

～日野川水系及び皆生海岸総合土砂管理連絡協議会～

本計画は、流砂系の関係機関からなる「日野川水系及び皆生海岸総合土砂管理連絡協議会」において、平成23年～平成26年の4年間にわたり議論し策定したものです。

～計画策定後のフォローアップの進め方～

今後は、毎年継続的なモニタリングを行っていきます。
また、「日野川水系及び皆生海岸総合土砂管理連絡協議会」において、関係機関と情報共有を図りつつ、モニタリング結果や得られた知見に応じて、5年程度をサイクルとして計画を適宜見直ししていく予定です。

【用語の説明】

流砂系……森林を含む山地域から海岸域までの土砂の運動領域

樹林化……河道の河原や草地に樹木が侵入し、群落(樹林)を形成・拡大する現象

局所洗掘……洪水が偏って流れ、部分的に速い流れが生じて、河岸などで局所的に深く掘れる現象

粗粒化……洪水により河床表面から細かい粒径の砂が流出し、粒径の粗い礫や石だけが残る現象

日野川水系及び皆生海岸総合土砂管理連絡協議会 ＜構成機関名＞

- | | |
|------------------------|------------|
| ● 農林水産省中国四国農政局 | ● 米子市役所建設部 |
| ● 林野庁鳥取森林管理署 | ● 境港市役所建設部 |
| ● 国土交通省境港湾・空港整備事務所 | ● 日吉津村役場 |
| ● 国土交通省中国地方整備局日野川河川事務所 | ● 大山町役場 |
| ● 鳥取県土整備部(河川課) | ● 南部町役場 |
| ● 鳥取県土整備部(治山砂防課) | ● 伯耆町役場 |
| ● 鳥取県農林水産部森林・林業振興局 | ● 日南町役場 |
| ● 鳥取県西部総合事務所米子県土整備局 | ● 日野町役場 |
| ● 鳥取県日野振興センター日野県土整備局 | ● 江府町役場 |
| ● 境港管理組合 | ● 中国電力(株) |

「日野川流砂系の総合土砂管理計画」本文は、日野川河川事務所のホームページよりご覧いただけます。

<http://www.cgr.mlit.go.jp/hinogawa/2015/150325sougoudoshakanri.pdf>

本計画へのご意見・お問い合わせは下記まで

●国土交通省中国地方整備局 日野川河川事務所 連絡協議会事務局
〒689-3537 鳥取県米子市古豊千678
TEL 0859-27-5484

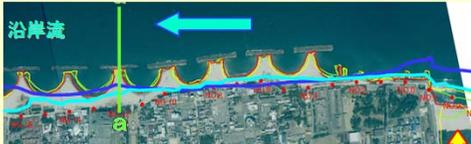
「日野川流砂系の総合土砂管理計画」の策定！

日野川及び皆生海岸を管理する関係機関が連携して、流砂系の土砂の流れの改善に向けた対策を講じます。

流砂系内では、海岸侵食、河口閉塞、砂州の樹林化や局所洗掘、大山等の土砂災害の発生、ダム堆砂の進行などの課題があり、流砂系として対応を図ることが重要

海岸侵食
鉄穴流しの終焉後、海岸線の後退が開始
海岸保全施設の整備やサンドリサイクル等により、海岸線を保全しているが、沖合侵食が発生
土砂堆積（港湾埋没）
西向きの沿岸流により港湾施設での堆砂が発生

海岸領域



河口閉塞
河口砂州は、大規模洪水時にフラッシュされているが、数か月で復元するため継続的な維持掘削が必要

河口領域

河道領域

土砂堆積、砂州の樹林化
砂州の樹林化に伴い、河積阻害が懸念
植生域では土砂が捕捉され、海岸への供給土砂量が減少



航空斜め写真（H17.6撮影）

河道領域

局所洗掘、河床材料の変化
流れが固定化され、堤防際で局所洗掘、河床材料の粗粒化が発生

砂防領域

ダム領域

ダム堆砂の進行
大規模な出水に伴う堆砂の進行が懸念
ダム貯水池内に海浜構成成分に近い細かい粒径も捕捉されている

ダム領域

土砂災害の発生
大山山頂部付近には大規模な崩壊地があり、たびたび土砂流出が発生
砂防施設の
下流河道への影響
不透過型砂防堰堤においては、下流への流出土砂が減少するおそれがある。



日野川総合土砂管理計画の概要 (H27.3.26 策定)

＜本計画の特徴＞

1. 海岸保全対策により、皆生海岸の海岸線の維持・回復を図りつつ、各領域の土砂供給能力を最大限に引き出す対策を実施し、**可能な限り海岸領域への土砂供給を行う**
2. 計画で定めた実施方針にしたがって、関係機関が連携して、**総合的に土砂動態の改善を図っていく**

＜計画対象期間＞

土砂動態を評価する期間として、30年程度を設定

＜海岸領域への供給土砂量を増やす様々な取組＞

海岸領域

- 沖合防護施設
- サンドリサイクル、養浜など



河口領域

- 河口砂州の維持掘削土砂による養浜



砂防領域

- 透過型砂防堰堤の整備
- 既設砂防堰堤のスリット化

ダム領域

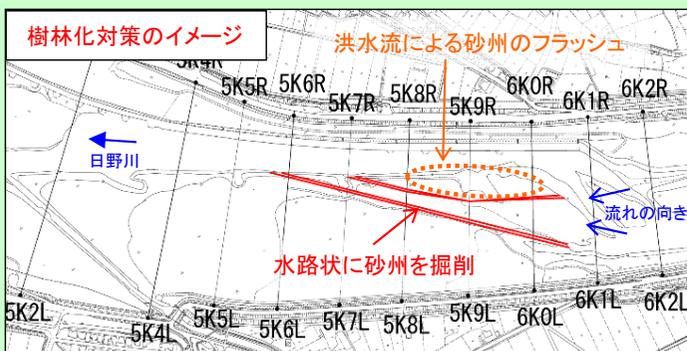
- ダム貯水池の浚渫土砂によるダム下流部への置き土



- S60～H24平均通過土砂量(現況)
- 土砂管理対策実施後の通過土砂量

河川領域

- 河道掘削土砂による置き土
- 砂州の掘削による効率的な樹林化対策



総合土砂管理計画の取り組みの推進に向けて

- 「日野川流砂系の総合土砂管理計画」を策定後、各対策のフォローアップについては、日野川流域の流砂系に関する管理者や自治体などで構成する「日野川水系及び皆生海岸総合土砂管理連絡協議会」で実施している。
- しかしながら、土砂移動現象の把握等技術的課題が多いため、学術的、技術的内容の検討・検証実施のために学識者を含めた「日野川流砂系総合土砂管理技術検討委員会」を連絡協議会と別に設置する。

